

造影CT検査を受ける患者さんへ

■ 造影CT検査とは



CT検査は、X線を使って身体の断面を撮影する検査です。体内の様々な病巣を発見することができますが、特に心臓、大動脈、気管支・肺などの胸部、肝臓、腎臓などの腹部の病変に関しては、優れた描出能が知られています。

より正確な診断と最良の治療方針を立てるために、必要だと判断された場合には**造影剤**というお薬を用います。造影剤を使うことで病気の状態をより鮮明に映し出すことができます。お薬ですので副作用が起きる可能性もあります。



(検査終了後不快感など体調に変化がみられた場合には、**病院代表番号 093(281)2810**にお問い合わせ下さい)

■ 検査に対する注意点

予約表に記載された時間は“**検査開始**”時刻です。病院に**30分前まで**にお越し下さい。お薬を使う検査ですので、別紙の問診・同意の書類をご一読いただき、必要事項に記載して、検査内容のご確認と検査に対するご理解をお願いします。



※検査前食は召しあがらないようにお願いします。(水分可)

食事をされますと、画像が診難くなり診断に影響を及ぼす場合があります。

※糖尿病のお薬を飲まれている方は事前にお知らせ下さい。

検査前後で休薬の必要がある場合があります。



■ 検査の流れ

1. 造影CT検査前に造影剤使用に対する確認・同意を行います。
2. 必要に応じて検査着に着替えていただきます。
(検査中にお薬によって衣服が汚れる恐れがあります)
検査部位にある金属は画像に写り、診断の妨げになりますのであらかじめ外しておいてください。
3. 造影剤を注入するために、外来で必要な着替えと点滴確保を行います。
点滴確保が済みましたら、放射線科(CT室)へ移動します。
4. 検査中に動かれると、画像が乱れ、診断結果に影響を及ぼしますので、**体は動かさないようお願い**します。また、検査部位により、何度か息を止めていただく場合があります。できる範囲でご協力をお願いします。息止めが困難な場合には、事前に技師にお申し出てください。
5. 造影剤を勢いよく血管内に注入しますので、血管に痛みを感じる場合があります。またお薬の作用で体が熱く感じられる場合がありますが、心配ありません。
造影剤使用后、気分が悪くなったり点滴部が腫れてきたりした場合には速やかに係の者にお知らせ下さい。迅速に適切な処置を行います。
6. 検査終了後、点滴が終わるまでお待ち頂きます。使用したお薬の体外への排泄を促すためです。お薬は1日以内にほとんどが尿と一緒に排泄されます。お薬をより体外へ早く排出するために、いつもより多く水分を取りましょう。(医師から水分制限を受けていない場合に限りです。)



ご不明な点は、医師・看護師・診療放射線技師にお気軽に声をお掛けください。